

中学校の事例 豊平区 陵陽中学校

ごみ分別・資源物回収

リサイクル・ペットボトル

リサイクル・農園

リサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

パネルラリー

児童会委員会

地域と協働

その他

ごみ分別・資源物回収

リサイクル・ペットボトル

リサイクル・農園

リサイクル

清掃活動

植樹・花壇

ビオトープ

パネルラリー

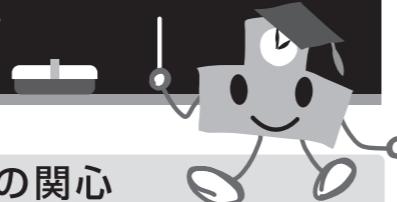
児童会委員会

地域と協働

その他

「とよひらお掃除隊」として清掃活動。 地域とのつながりと環境意識の向上へ。

生徒会と区役所職員が協働で
地域のために活動する「とよひらお掃除隊」。
集めた落ち葉を発酵させ、リサイクル肥料にも。



内容 集めたごみを計量することで高まるエコへの関心

本校では、「とよひらお掃除隊」という活動をしている。これは、生徒会と豊平区役所が平成16年12月から行っている活動の一環で、区の重点取組項目などを定めた「豊平区実施プラン2007」の中でも、生徒会と区役所職員が協働して地域のために役立つ活動を考え、取組む「U15市民自治プロジェクト」として事業化されている。

清掃は、年に1、2回、生徒会を中心に、参加者を募って行っており、平成22年度は7月21日と、11月16日の2回実施された。

1回目の実施前には説明会も行われ、当日の日程や、グループ分け、準備するものなどについて説明を受けた。当日は生徒42名が参加し、8つのグループに分かれて主に通学路の清掃を行った。ごみは、落葉・燃やせるごみ・燃やせないごみの3つに分別。清掃は、グループ毎に収集したごみの重さを競うゲーム形式で行われ、生徒たちは楽しみながら清掃活動に汗を流した。



通学路のごみ拾い

学校に戻ってきてからグループごとにごみを集約・計量を行った。その後、「おわりの会」が開かれ、豊平区のキャラクターである「こりん」と「めーたん」も登場し、結果発表と表彰が行われた。

2回目の清掃は、62名が参加し、月寒公園を中心にお落ち葉掃きとごみ拾いを行った。清掃終了後に、前回と同様落ち葉とごみに分けて計量し、その後、校地内の旧プール前にて腐葉土の観察をした。腐葉土がどのように使われているかなどについて土木センターの方にお話しいただき、落ち葉が肥料になるという循環について学んだ。

この腐葉土は月寒公園の落ち葉を拾い発酵させているもので、今回集めた落ち葉もここへ運ばれた。秋の清掃時には、落ち葉がたくさん集まるので、これからも、市のリサイクル肥料として活用してもらいたいと考えている。



結果発表後の記念撮影

効果 「地域」から地球環境を考えるきっかけへ

地域の方たちと連携・交流し、自分たちの住む地域の清掃を行うことで、生徒たちにも社会の一員であるという意識が生まれ、地域の役に立っていると感じている。また、地域を身近に感じることで、自分たちの街をきれいにしたいという気持ちが高まり、地球規模の環境保護について考えるきっかけともなっていくと考える。

ごみを収集・分別するとともに、落ち葉も無駄にせず肥料として活用することによって、自分たちの選択次第では、ごみも資源となることを知り、環境意識を高めている。



生徒へ記念品贈呈



観察し、市のリサイクル肥料へ



実施校から
メッセージ

環境活動を始めるにあたり、大切なのは無理なくできるところから行うということだと思います。本校では「とよひらお掃除隊」の活動においては、担当教諭の負担が大きくなっているので、今後は教員間で調整をし、学校全体での取組方法も見直して無理なく行っていきたいと考えています。